

連続講演会

グローバル社会の航空・空港戦略を考える ～経営と政策の視点から～

<趣 旨>

経済成長による航空需要の増加、LCCの普及等、アジアの航空市場は大きく変化している。また、羽田空港の国際化、関西国際空港のLCC増加等、国内の拠点空港にも大きな動きが見られ、中部国際空港(セントレア)を中心にした中部圏の航空・空港戦略にも変革が迫られている。この連続講演会では、航空・空港ビジネスの国際的な動向を踏まえながら、中部圏における今後の航空・空港戦略について考える。

<講 師>

Tae Hoon OUM教授(ブリティッシュ・コロンビア大学):
Air Transportation Research Society(ATRS)の会長を務める等、航空分野の世界的権威である。また、南山大学ビジネス研究科の寄附講座(JR東海)教授として東海地域のビジネス人材の育成にも携わっている。2016年度9月からは南山大学経営研究センター客員研究員として滞在予定。

<日 時>

- 第1回 : 10月1日(土) 13:30~15:00
東北アジアにおける航空・空港ビジネスの動向
～グローバル・ネットワークと各国の航空規制が変化する中で～
- 第2回 : 10月15日(土) 13:30~15:00
効果的な航空・空港の自由化とは何か
～貿易とこれに関連する経済活動の視点から～
- 第3回 : 10月22日(土) 13:30~15:00
空港政策の成功例と失敗例
～空港に関連する官民連携プログラムのパフォーマンスについて～
- 第4回 : 10月29日(土) 13:30~15:00
航空・空港ビジネスの環境変化と空港経営戦略
～セントレアに焦点を当てて～

<場 所>

南山大学名古屋キャンパスJ棟4階 J415

<申 込>

参加希望者は下記のメールアドレスにご連絡下さい。
mcenter@ic.nanzan-u.ac.jp(南山大学経営研究センター)

主 催:南山大学経営研究センター(2016年度研究プロジェクト)
共 催:南山大学ビジネス研究科及び南山ビジネススクール同窓会
後 援:中部圏社会経済研究所(旧中部空港調査会)

